

<形成外科>

一般（教育）目標

形成外科で扱う疾患について経験するとともに、形成外科で行われる基本的手技について習得する

（具体的）行動目標

- (1) 経験した各疾患・病態について教科書・文献にあたり、正しく深く理解する
- (2) 適切な病歴聴取、カルテ記載を行い、的確なプレゼンテーションができる
- (3) 病棟において、適切な創傷管理について学び、自ら創傷に対する治療方針を立て、治療を行えるようにする
- (4) 皮膚の解剖・生理および手術的操作における特徴を理解し、縫合手技を習得する
- (5) 以下の術式・手順を理解し、助手として手術を行う
 - (ア) 皮膚良性腫瘍切除
 - (イ) 皮下腫瘍摘出術
 - (ウ) 下肢静脈瘤に対する高位結紮術およびストリッピング手術、血管内治療（焼灼術・塞栓術）、硬化療法
 - (エ) エキスパンダーによる組織拡張術
 - (オ) インプラントによる乳房再建および豊胸手術
 - (カ) 再建乳房乳頭再建手術
 - (キ) 眼瞼下垂手術

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者は概ね7～10名である
- (2) 手術に助手として参加し、縫合手技を行う

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

外国文献の抄読会は概ね1か月に1回は担当になる

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	褥瘡回診 病棟処置(隔週)	部長外来 病棟処置	手術	部長外来 病棟処置	
昼		抄読会 カンファレ ンス			
午後	超音波検査 手術	手術	手術	手術	手術

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること